



CSRレポート
2016



CSRのしがぎん～戦略的CSRへの挑戦～

CSRの推進態勢

頭取を委員長とする「CSR委員会」を実施し、CSR活動の中長期的計画や毎年度の取組内容等を組織横断的に協議しています。

「3つのブランド戦略」のひとつに「CSRのしがぎん」を掲げた第5次長期経営計画(2013～2015年度)を終え、2016年度からは、「5つの挑戦」のひとつとして「戦略的CSRへの挑戦」を掲げた第6次中期経営計画をスタートさせました。

地域社会、お取引先、株主の皆さま、役職員とその家族など、滋賀銀行に関わるすべてのステークホルダーとの共有価値を創造し、「未来創造銀行『The・ちぎん』」を目指します。

第6次中期経営計画

戦略的CSRへの挑戦

これまでのCSR

「+α」(戦略化)

- 戦略① 本業を通じた社会的課題の解決
- 戦略② 業務における環境課題の解決「エコオフィスづくり」
- 戦略③ 本業を支えるCSR基盤の強化

共有価値の創造 (CSR価値・経済価値の融合)

CSR憲章(経営理念)の実現

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。



琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

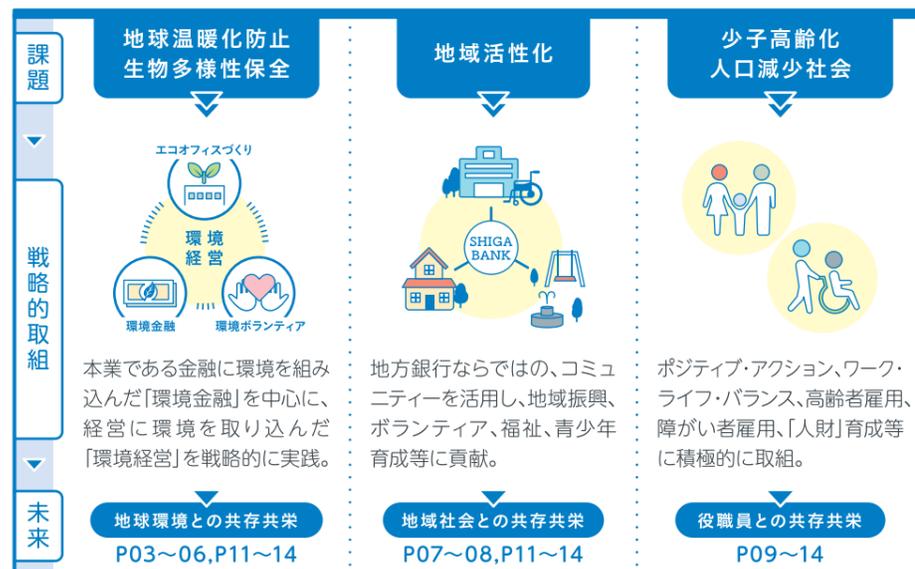


地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。



役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりにも努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

社会的課題を解決し、持続可能な未来を創る!



取締役頭取
高橋 祥二郎

滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	1933年10月1日
総資産	5兆16億円
預金残高	4兆4,301億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	3兆2,675億円
資本金	330億円
従業員	2,199人
店舗数	137カ店 (うち代理店16カ店)

(2016年3月31日現在)

編集方針

滋賀銀行は、今年度から「統合報告書(ディスクロージャー誌)」を発行し、これまでの「CSRレポート(非財務情報)」の要素を「統合報告書」へ統合しました。これに伴い、新たな「CSRレポート2016」を作成いたしました。

本レポートは、国際標準化機構のISO26000が提示する主題を参考に、当行の「CSR憲章(経営理念)」である「地球環境」「地域社会」「役職員」との共存共栄の各テーマを軸に、写真や図表などを用いて内容をよりわかりやすく編集しています。

財務面およびその他詳細な情報につきましては、統合報告書(ディスクロージャー誌2016)、またはホームページ(<http://www.shigagin.com>)をご覧ください。

対象組織

(株)滋賀銀行・関連会社(しがぎんビジネスサービス(株)、しがぎん代理店(株)、しがぎんキャッシュサービス(株)、滋賀保証サービス(株)、しがぎんコンピュータサービス(株)、しがぎん経済文化センター、(株)滋賀ディーシーカード、しがぎんリース・キャピタル(株)、(株)しがぎんジェーシービー)

Contents

CSRのしがぎん～戦略的CSRへの挑戦～	01	金融を通じて地域を豊かに	07
環境経営	03	一人ひとりがいきいきと働けるように	09
エコオフィスづくり	04	地域とともに	11
お金の流れで地球環境を守る	05	CSRの歴史	13



環境経営

「カーボンニュートラルローン 未来よし」をお客さまにご利用いただき、自然エネルギーの導入を促進。お客さまのCO₂排出削減量を金額換算し、ニゴロブナ・ワタカの保護・育成・放流事業に資金を拠出。

環境金融

環境経営サイクル

エコオフィスづくり

環境ボランティア

「ヨシ刈りボランティア」で刈り取ったヨシを利用した「ヨシ紙名刺」で営業活動を実施。

「ニゴロブナ・ワタカ放流式」として稚魚を放流するボランティアを実施。さらに、放流した稚魚の成長、繁殖のため、琵琶湖の水質保全活動として「ヨシ刈りボランティア」を実施。



エコオフィスづくり



太陽光パネル

省エネルギー技術の導入

- ・タスクアンビエント照明
- ・LED照明
- ・全熱交換機(CO₂センサー付き)
- ・自然風利用
- ・雨水散水利用
- ・電気自動車用充電スタンド
- ・日除け庇
- ・自然光利用
- ・遮熱断熱防犯ガラス
- ・太陽光発電



「カーボンニュートラル」店舗(栗東支店)のイメージイラスト

スカイライチューブ

環境方針

1999年10月制定・2010年4月改定

- 1 | 省資源・省エネルギー活動
- 2 | 金融サービスを通じた環境保全
- 3 | 環境関連法規等の順守
- 4 | 全員参加と啓発
- 5 | 環境方針の公開 (抜粋)

生物多様性保全方針

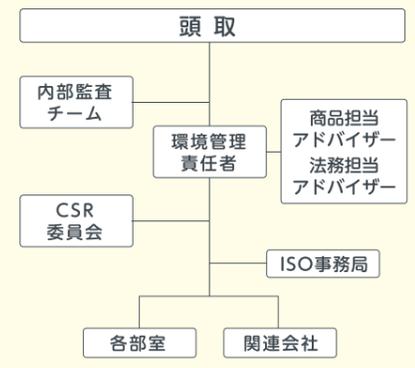
2010年8月制定

- 1 | 役職員自らが生物多様性保全の活動を展開
- 2 | 地域の皆さまとの連携によるネットワークづくり
- 3 | 環境対応型金融商品・サービスの充実 (抜粋)

ISO14001の取り組み

2000年に認証を取得してから当行独自の環境マネジメントシステムを運用し、毎年、一般財団法人日本品質保証機構(JQA)の審査を受けています。

環境マネジメント組織図



第5次長期経営計画(2013~2015年度)実績

- ・温室効果ガス排出量 35.09%削減(3年間平均で2006年度比較)
- ・ボランティア活動参加延べ人数 7,739名

第6次中期経営計画(2016~2018年度)挑戦指標

- ・温室効果ガス排出量 30%削減(3年間平均で2006年度比較)



NEWS

「環境人づくり企業大賞2014」で「部門最優秀賞」!

役職員の環境保全意識の向上に、長年にわたり取り組んできたことが評価され、2015年8月、本賞を受賞しました。

(主催:環境省、環境人材育成コンソーシアム)



「環境保全優良事業所」として表彰!

2016年5月、「滋賀県環境保全協会会長表彰」環境マネジメント部門において表彰されました。

(主催:公益社団法人滋賀県環境保全協会)

1 節電対策!

「しがぎんエコスタイル」(夏季5月~10月、冬季12月~3月)や空調管理、営業室・共用部分の照明の間引き、OA機器の輝度設定、スタンバイモードの活用、早帰りの励行等を実施。



2 グリーン購入で環境負荷低減!

「グリーン購入基本方針」のもと、環境負荷ができるだけ少ない商品やサービスを優先的に購入。



3 ヨシ紙名刺で琵琶湖を浄化!



4 通勤もエコに!

2011年よりエコ通勤優良事業所の認証を取得。2015年7月からは、自転車通勤者に対する手当てをさらに拡充。



5 エコメールでゴミを少なく!

広報冊子を、簡単にはがせる開封テープと宛名ラベルのみの簡易包装で発送。



6 行内リサイクルシステムで紙資源を再生!

行内の機密書類等を全店から集めて破碎処理し、再生紙工場に持ち込んで、トイレトペーパーなどに再生。



7 バイオディーゼル燃料利用!

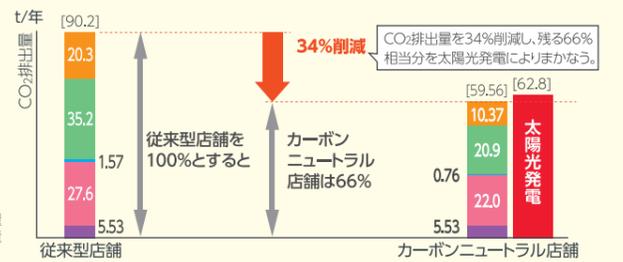
しがぎんキャッシュサービス㈱の社有車で利用。

8 「カーボンニュートラル店舗」でCO₂排出量実質ゼロ!

2015年6月、栗東支店を「カーボンニュートラル店舗」としてグランドオープン。

【カーボンニュートラルのイメージ】▶▶▶

- 太陽光発電電量
- 照明電力量
- 空調換気電力量
- 屋外電気使用量
- コンセント電気使用量
- 営業車CO₂排出量



(数値は2015年度実績)



お金の流れで地球環境を守る

定期預金で環境学習をサポート!

ダイレクトチャネルでお預入いただく「エコプラス定期」を2003年より取扱開始。1回のお預入ごとに7円(不要となる申込用紙相当額)を当行が拠出し、滋賀県内の小・中学校等へ「学校ビオトープ」づくりの資金として毎年助成しています。

※2013年度より、「ネット投信」の「電子交付サービス」のご契約1件につき100円(紙資源削減相当額)についても、おなじく拠出、助成。



まさに、近江商人の「三方よし」!



コミュニケーションを通じて事業展開をサポート!

エコビジネスマッチングフェア

お取引先の新たな事業展開のサポートを目的に、2008年より毎年開催。2016年度は、9分野で88社、団体が出席。1,420名が来場され、580件を超える商談が行われました。



ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

2000年度より毎年開講。また、受講生の中で、実際にニュービジネスに取り組まれた企業や事業者の皆さまを対象に「しがぎん野の花賞」を贈呈。2015年度は5企業に総額50万円を贈呈し、累計88先、総額880万円になりました。



「しがぎん野の花賞」贈呈式

融資で環境・生物多様性保全の取り組みをサポート!

当行は、琵琶湖をはじめとする地球環境保全のため、2005年に「しがぎん琵琶湖原則(PLB=Principles for Lake Biwa)」を独自に策定し、お取引先に賛同を広く呼びかけています。さらに、ご賛同をいただいたお取引先に対し、ご希望がある場合は、当行が独自の評価基準により「環境格付(PLB格付)」を実施。環境経営に対する

「気づき」のツールとしてご活用いただいています。そして、実際に環境保全に役立つ製品・サービスの開発や省エネ設備などを導入される場合には、「琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」によってご融資。2009年からは、「生物多様性格付(PLB格付BD)」も策定。PLB格付とあわせてご利用いただけます。



社会的責任への取り組みを重視!

SRIとは、ESG(環境・社会・ガバナンス)の視点から企業を評価し、投資先を選定する社会的責任投資(Socially Responsible Investment)の略称。当行でもSRIファンドを取り扱っています。

なお、当行は、英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合弁会社FTSE社の「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に13年連続で選ばれています。



FTSE4Good

賛同

PLB賛同先 10,395先
事業先比 55.7%

しがぎん琵琶湖原則(PLB)の3原則

- ① 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
- ② 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。
- ③ 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。

格付

PLB格付取得先 10,000先
事業先比 53.5%

PLB格付評価項目

- ISO14001等の認証取得
- 環境方針の策定
- 環境報告書の発行
- 環境会計の導入
- 環境保全のボランティア活動
- 投資案件に対する環境考慮対応
- 土壌汚染、騒音、振動等対策
- 省エネ・省資源対策
- 温室効果ガス排出量削減への取り組み
- 環境に配慮した製品・商品の取り扱い
- グリーン調達・グリーン購入の取り組み
- リサイクルへの取り組み
- 法令遵守方針の策定
- 法規制違反の事実・可能性
- コンプライアンスの推進部署の設置状況

PLB格付BDの格付取得先

5,094先
事業先比 27.3%

PLB格付BD評価指標

- 「生物多様性保全」方針の策定状況
- 推進・管理体制の構築状況
- 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
- ビジネスの中への組み込み状況
- 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
- 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
- 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
- 活動や成果の公表状況

お借入

PLB資金 実行件数 1,861件

金利引き下げ幅

PLB格付	格付評価	金利引き下げ幅	PLB格付BD	BD金利引き下げ幅	合計金利引き下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%	L1+	0.1%	0.6%
L2	取り組みが十分	0.4%	L2+	0.1%	0.5%
L3	取り組みが普通	0.3%	L3+	0.1%	0.4%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%	L4+	0.1%	0.3%

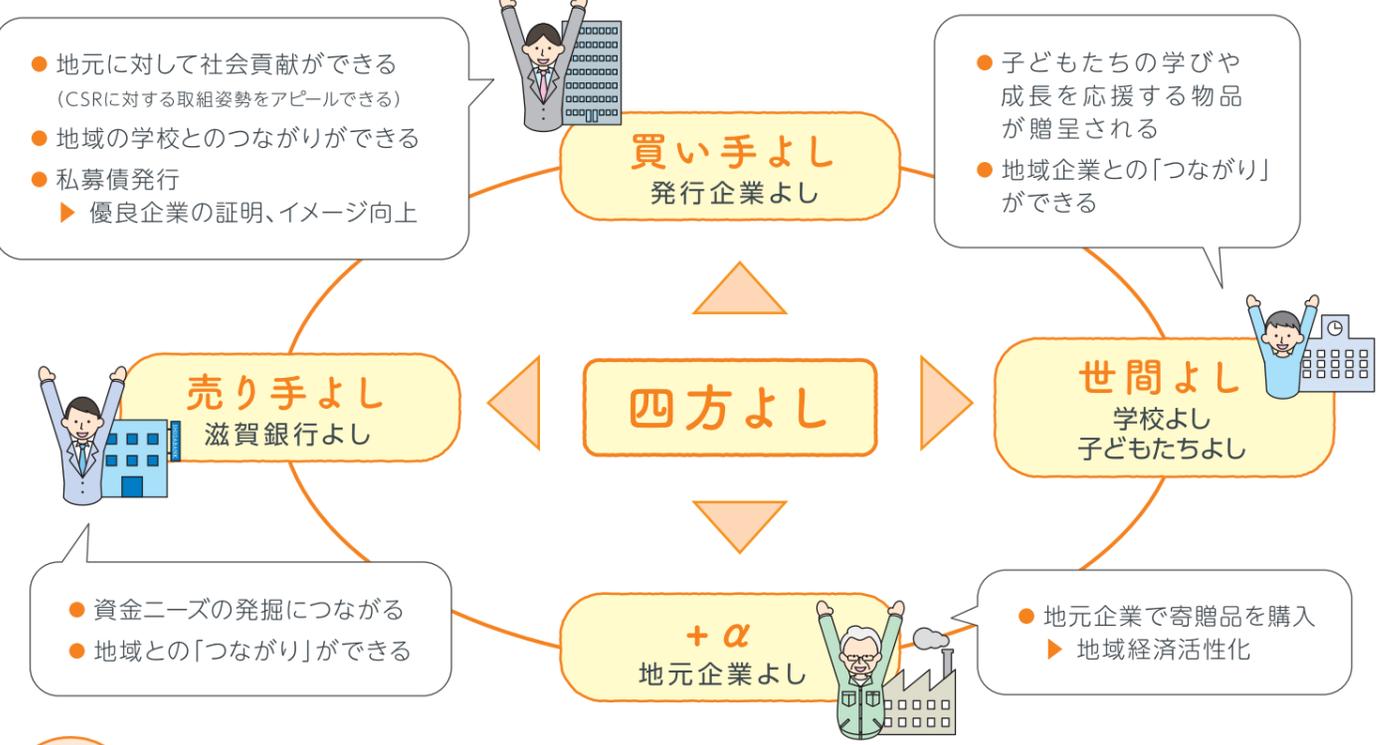
(注)L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。

(賛同先、格付取得先、実行件数は2016年3月末の累計実績数値)

金融を通じて地域を豊かに

教育を豊かに

私募債で地域社会と子どもたちの「つながり」を応援！
2014年11月より、CSR私募債「つながり」の取り扱いを開始。



NEWS CSR医療機関債「はぐくみ」取扱開始！

2016年6月、CSR医療機関債「はぐくみ」の取り扱いを開始。CSR医療機関債とは、厚生労働省の厳しい発行基準を満たした医療法人さまが発行される証拠証券です。本債券発行時には、当行が発行金額の0.2%相当額を拠出し、発行法人さまの希望を参考に、学校や社会福祉法人等へ「子どもたちの学びや成長を応援する物品」や「地域医療の向上につながる物品」を寄贈。本商品の取り扱いを通じて、医療機関と地域社会との絆をはぐくみます。医療機関債を通じた社会福祉法人等への寄贈は、全国で初めての取り組みです。

スポーツを豊かに

定期預金で滋賀県ゆかりのアスリートを応援！

2014年12月、「しがぎん」スポーツ応援定期^{あす}未来りーと」の取り扱いを開始。2015年9月には、835千円をレイクス・スポーツファンドへ贈呈しました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2024年の滋賀県での国体開催を控え、滋賀県内のスポーツ振興を応援し、地域活性化を図っています。



生活を豊かに

お金の管理を応援！～「いつでも」「どこでも」「簡単に」～

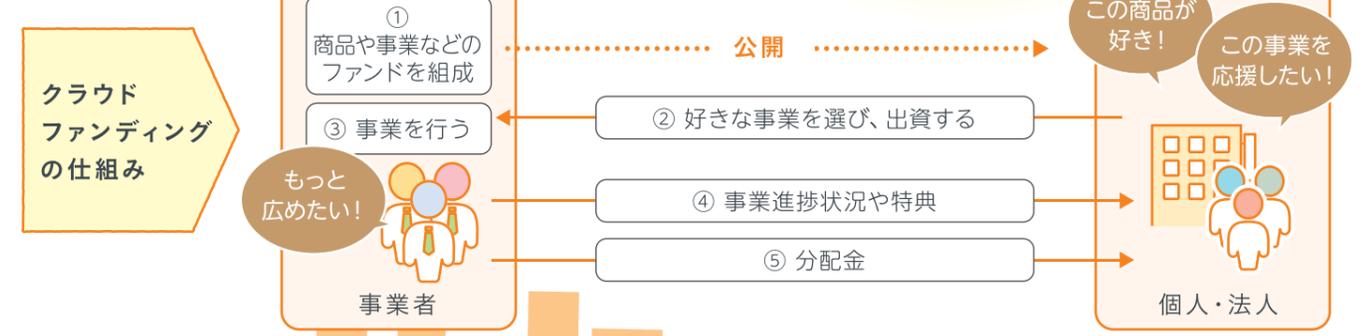
2016年3月、金融とITを融合したサービス「FinTech」で、株式会社マネーフォワードと近畿の地方銀行として初めて提携。6月より自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」の機能を当行のお客さま向けに拡充し、提供を開始しました。当行口座だけでなく、他行口座やクレジットカード、電子マネー、ポイントなどをスマートフォンやパソコンで一括管理することができます。



地域ブランドを豊かに

クラウドファンディングで地域の魅力向上！

2011年5月に全国の金融機関で初めて、ミュージックセキュリティーズ株式会社と提携。クラウドファンディングの手法を活用し、地域ブランドの魅力向上や地域資源を利用した新商品・サービスの提供、ファン拡大に取り組まれるお取引先をサポートしています。また、2015年2月には、個別ファンドを主たる投資対象とする「しがぎんふるさと投資ファンド投資事業有限責任組合」を設立。「呼び水」効果を期待し、これまで4件の個別出資を行っています。





一人ひとりがいきいきと働けるように



WORK

2016年度は、「社会人の良識とプロ意識を持った行員の育成」を人材育成方針として取り組んでいます。

Balance



LIFE



実質的な機会の平等を確保し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます。

キャリア形成

社会人の第一歩を応援 ～新入行員育成～

- ・集合研修
- ・OJT
- ・指導員制度



新入行員1名に対して、先輩行員1名が指導員となり、業務面だけでなく生活面や精神面でもサポート。

スキル向上のために

- ・階層別研修
- ・職務別研修
- ・人材公募制度
- ・ゆとりプランセミナー



キャリア制度の充実

- ・中途退職者の再雇用制度
- ・高齢者の再雇用制度
- ・キャリア採用
- ・障がい者雇用

コンプライアンス

コンプライアンス態勢

「滋賀銀行の行動規範」を遂行し、法令等遵守を徹底するため、専務取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」が中心となり、「コンプライアンス・プログラム」に取り組んでいます。

内部通報窓口設置

- ・コンプライアンスヘルプライン
- ・弁護士相談制度

災害・感染症対策

「事業継続計画（BCP）」を制定し、危機管理や防災等に関する規程等を整備するとともに、訓練、教育を実施。さらに、専務取締役を委員長とする「BCP委員会」も定期的開催。業務を円滑に継続する体制を構築しています。



人権啓発

2016年度は、「認め合い尊重しあう心豊かな社会をめざして」を研修テーマとして、各種研修を実施。そのほか、各種ポスターの掲示や人権標語の募集などにより、人権啓発を心がけています。

メンタルヘルスケア

管理職を対象とした産業医による「メンタルヘルス」をテーマとした研修のほか、行内に設置している健康管理室の看護師が精神面をフォロー。必要に応じて外部の専門家とも連携を図っています。

従業員に関するデータ

2015年度	男性	女性
従業員(名)	1,361	864
総合職	998	198
特定職	17	282
職選択前	271	353
管理職(名)	720	172
平均勤続年数(年、月)	16.05	12.00
中途退職者の再雇用制度(名)	0	
高齢者の再雇用制度(名)	39	
キャリア採用(名)	5	
障がい者雇用率(%)	2.317	

※嘱託・パートタイマー除く(2016年3月末現在)

ポジティブ・アクション

子育て支援制度の充実

次世代育成支援対策推進法に基づく優良な子育てサポート企業として、2016年4月、近畿の地方銀行で初めて、「プラチナくるみん認定」を受けました。



育休復帰後セミナー

育児と仕事の両立策や仕事への取組姿勢等、意見交換の場を提供。

育休mamaセミナー

最新の銀行情報に加え、育児休業中の行員同士が情報交換できる場を提供。

配偶者出産特別休暇制度

パパが出産に付き添うことができます。

半日年次有給休暇制度

パパやママが参観日・運動会等の行事参加や、病院への通院などに利用できます。

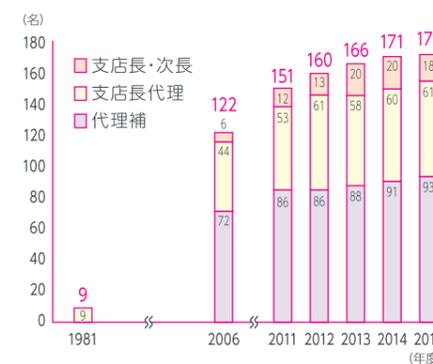
イクボス宣言



2016年4月、職員が仕事と家庭を両立させ、いきいきと活躍できる職場環境づくりを推し進めるため、多様化する時代に対応した新しい上司「イクボス」の育成を目指し、「イクボス宣言」を近畿の地方銀行で初めて実施しました。

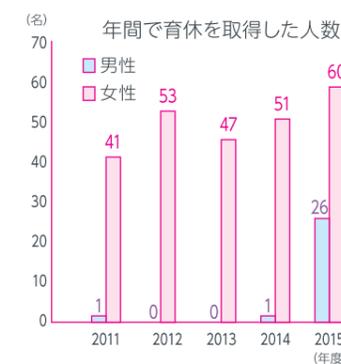
女性の管理職者数の推移

女性管理職比率:19.28%(代理補以上 2016年3月末現在)



育児休業取得者数の推移

最長で子どもが3歳になるまで取得可能



地域とともに



エコ・ファーストin関西
外来魚駆除・釣りボランティア(大津市)



ヨシ刈りボランティア(湖西エリア、高島市)

伊吹スキ刈り
ボランティア
(湖北エリア、
米原市)



冬に刈り取り、
新芽の生長を促進!

環境保全 生物多様性保全



瀬田川ぐるっとウォーク
(東大津エリア、大津市)

ヨシ苗植え



ヨシ刈り



“いきものがたり” 活動

琵琶湖の生物多様性を守るため、魚の産卵場所であるヨシ群落を守り・育て、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを保護・育成・放流し、侵略外来魚を駆除するなど、滋賀県ならではの“いきものがたり”活動を展開しています。



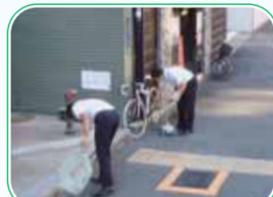
外来魚駆除・釣り



ニゴロブナ・ワタカの放流



野洲川親水公園
魅力向上プロジェクト
(甲西中央・石部・
岩根支店、湖南市)



日銀前清掃(名古屋支店、名古屋市)



緑化フェア
(草津支店、草津市)



オオバナミズキンバイ
除去大作戦
(東湖南エリア、守山市)

森づくりサポート活動

当行創立70周年の記念植樹以来、「びわこ地球市民の森」(守山市)で21,480本を植樹。メンテナンス作業を継続的に実施しています。



福祉

ピワマス遡上プロジェクト
(米原・近江町・
山東支店、米原市)



耳マーク・筆談用ボード・
コミュニケーション支援ボード



高齢者
疑似体験講座で接遇向上



「びわ湖の日」環境美化活動
(彦根エリア、彦根市)



伊庭内湖外来魚駆除釣り大会
(能登川支店、東近江市)

文化振興



地元アーティストの育成サポート
～しがぎんホールシリーズ～

先進的な地域福祉活動に対して助成

「社会福祉法人しがぎん福祉基金」は、滋賀県内で展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みに対して幅広く助成を行っています。

2016年度(第32回):9件、8,637千円助成
助成累計:465件、3億4,797万円



「ユニセフ外国コイン」募金活動

2014年および2015年の7月から9月まで、全店で「ユニセフ外国コイン」募金活動を実施。集まった35.6kgのコインを2016年1月、公益財団法人滋賀県国際協会を通して、公益財団法人日本ユニセフ協会に贈呈しました。



青少年育成

スポーツ育成をサポート

創立60周年を機に、小学生対象の滋賀県内最大のサッカー大会「しがぎんカップ(滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会)」への協賛を続けています。



職場体験で金融教育

大津市内の中学2年生を対象とした「中学生チャレンジウィーク」の協力事業所として、支店のロビー実習や通帳作成など特別なプログラムも組み込んだ5日間にわたる銀行員体験を実施しています。



地域資源活用



観音寺城跡整備プロジェクト
(安土・五個荘支店、近江八幡市)



まいばら子ども王国(山東支店、米原市)

CSRの歴史

地域社会、地球環境を想い、
共に歩んできたしがぎん

CSRの歩み

CSR関連商品

外部からの評価

- '84 ● 社会福祉法人しがぎん福祉基金設立
- '85 ● 日本列島クリーン大作戦に参加
- '88 ● 水質調査船建造費として滋賀県に1億円寄付
- '94 ● リサイクルシステム稼働
- '98 ● ノベルティグッズをグリーン購入品へ
● 全店の焼却施設を撤去
- '99 ● 「環境委員会」設置
● 「クリーンバンクしがぎんスタートアップキャンペーン」開始
● 「環境方針」制定

- '00 ● 「ISO14001」認証取得
● 「ふれあい環境室」設置
- '01 ● 「UNEP金融機関声明」に、日本の市中銀行で初の署名
- '03 ● 「土壌汚染対策法」取組指針を策定
● 創立70周年記念事業「びわこ地球市民の森」で植樹
- '04 ● 「CSR委員会」・「CSR室」設置
- '05 ● 「エコスタイル」キャンペーン開始



- '06 ● 「女性活躍推進委員会」スタート
- '07 ● 「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
● 環境に配慮した「エコメール」を導入
● 環境会計を導入
● 営業統轄部にCS推進室を設置
- '08 ● 「ヨシ紙名刺」利用開始
● 「AED」を全本支店に設置
● しがぎん浜町研修センター「CASBEE」Sランクを取得



- '10 ● 「環境方針」改定
● 「生物多様性保全方針」制定
- '11 ● 「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」に署名
- '13 ● 営業統轄部に「地域振興室」を設置
● 創立80周年記念事業「びわこ地球市民の森」で植樹



- '14 ● 創立80周年記念事業「ビワマス遡上プロジェクト」実施
● 滋賀県と「地域密着連携協定」締結
- '15 ● 金融教育「中学生チャレンジウィーク」開始
● 「カーボンニュートラル店舗」(栗東支店) グランドオープン

1984

2000

2010

2015

- '92 ● ボランティア預金「愛のみずうみ口座」取扱開始
- '98 ● 「エコ・クリーン資金」取扱開始



- '02 ● ニュービジネスネットワーク「野の花応援団」創設
- '03 ● 「エコプラス定期」取扱開始
- '05 ● 「エコ&耐震住宅ローン」取扱開始
● 「琵琶湖原則支援資金」取扱開始
- '06 ● 「エコプラス定期」による学校ビオトープ助成開始
● 「事業者向けBCPサポートローン」取扱開始
- '07 ● 「カーボンニュートラルローン 未来よし」取扱開始

- '08 ● 「エコビジネスマッチングフェア」開催
● 「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」取扱開始
● 「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」取扱開始
- '09 ● 「琵琶湖原則支援資金(環境省利子補給活用プラン)」取扱開始
● 「生物多様性格付」運用開始



- '10 ● 「成長基盤強化応援ファンド」取扱開始
- '11 ● 「スピードローン ジャストサポート(災害復旧プラン)」取扱開始
● 「BCPサポートローン(震災影響対策プラン)」取扱開始
● 「滋賀の魅力発信ファンド」取扱開始
● 「経営者応援ローン『地産地融』」取扱開始
- '13 ● 「食の商談会2013」開催
● 「PLB格付80(利子補給用)」運用開始
● 「BCPサポートローン(災害対策プラン)」取扱開始(震災影響対策プランから改称)

- '14 ● 「しがぎん成長戦略ファンド」設立
● 「『滋賀健康創生』特区利子補給金制度融資」取扱開始
● 「しが6次産業化ファンド」設立
● 「CSR私募債『つながり』」取扱開始
● 「『しがぎん』スポーツ応援定期 未来りーと」取扱開始
- '15 ● 「しがぎんふるさと投資ファンド」設立
- '16 ● 「滋賀どこでもATMネット」(県内6金融機関相互のATM 利用手数料無料)開始
● CSR医療機関債「はぐくみ」取扱開始



- '03 ● 「第1回日本環境経営大賞」環境経営パール大賞受賞
- '04 ● 「第2回『誠実な企業』賞」金融機関部門賞受賞
● 「第13回地球環境大賞」フジサンケイグループ賞受賞
● 「滋賀労働局優良賞」受賞
● 「FTSE4Good Global Index」に選定
- '07 ● 平成18年度 財界「経営者賞」受賞
● 「第9回グリーン購入大賞」環境大臣賞受賞



- '08 ● 「第12回新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞受賞
● 「第5回企業フィナンソロピー大賞」大賞受賞
● 「ワークライフバランス推進企業」に登録
● 「BCAOアワード2007」大賞受賞
● 「次世代育成支援対策推進法」に基づき「子育て支援に積極的に取り組む企業」として認定
● 環境省より「エコ・ファースト企業」に認定
- 平成19年度「関西エコオフィス大賞」受賞
● 平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



- '09 ● 「第12回環境コミュニケーション大賞」奨励賞受賞

- '10 ● 「第13回環境コミュニケーション大賞」環境金融報告特別優秀賞受賞
● 「第8回日本環境経営大賞」環境経営パール大賞受賞
● 日本経済新聞社「第14回環境経営度調査」非製造業：金融部門 第1位
- '11 ● 「ストップ温暖化大賞-低炭素杯2011-」審査員特別賞受賞
● 「第14回環境コミュニケーション大賞」テレビ環境CM部門：優秀賞受賞
● 「次世代育成支援対策推進法」に基づき「子育て支援に積極的に取り組む企業」として2度目の認定
● 「第2回いきものにぎわい企業活動コンテスト」農林水産大臣賞受賞
- '12 ● 2012年版「環境白書」に「いきものがたり」活動が掲載
● 「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」グッドプラクティスに選定
- '13 ● 「第15回グリーン購入大賞」大賞受賞
- '14 ● 清水書院発行の高等学校「現代倫理」の教科書に当行のCSR活動が掲載
● 「第17回環境コミュニケーション大賞」ダブル受賞
環境報告書部門：環境報告大賞(環境大臣賞)
テレビ環境CM部門：優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)
● 環境省より「エコ・ファースト企業」に再認定

- '14 ● 「次世代育成支援対策推進法」に基づき「子育て支援に積極的に取り組む企業」として3度目の認定
● 「第50回献血運動推進全国大会」厚生労働大臣表彰受賞
● 第2回「『京環境配慮建築物』顕彰制度」奨励賞受賞(京都支店)
- '15 ● 「第1回買うエコ大賞」優秀賞受賞
● 「第18回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門：優良賞受賞
● 第1回「低炭素な『まちと建物』コンテスト」優秀賞受賞(栗東支店)
● 第3回「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」グッドプラクティスに選定
● 「『誠実な企業』賞2015-Integrity Award-」優秀賞受賞
● 「環境人づくり企業大賞2014」最優秀賞受賞
● 平成27年度「均等・両立推進企業表彰」ファミリー・フレンドリー企業部門：滋賀労働局長優良賞受賞
● 「UCDAアワード2015」最優秀賞受賞
- '16 ● 第4回「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」グッドプラクティスに選定
● 「イクボス宣言」実施(239名)
● 「次世代育成支援対策推進法」に基づき「プラチナくるみん」に認定
● 「滋賀県環境保全協会長表彰」環境保全優良事業所として表彰

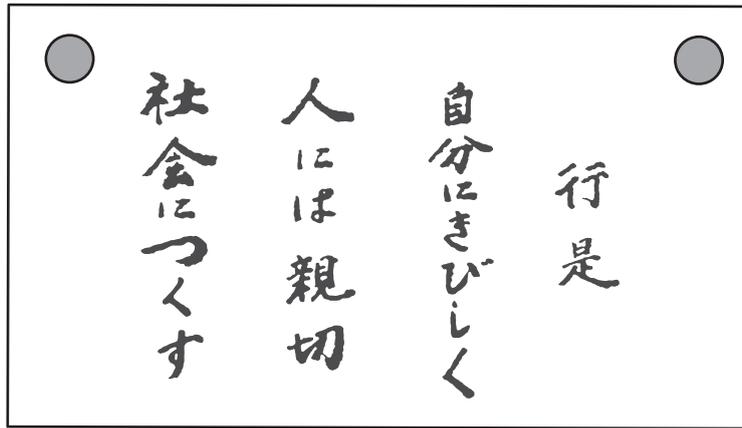


今年から滋賀銀行で働いている「しがの助」だよ。
滋賀県全体を盛り上げる手助けをしたいと思ってるんだ。
よろしくね!
突然だけどココでクイズ!!
このCSRレポートに何回おいらが登場したかわかるかな?
答えは…Webで!

しがぎん CSR 2016 検索

『しがぎん』オリジナルキャラクター しがの助





行是(1966年制定)

行是の心

近江商人の経営哲学である「三方よし」の精神を原点とした行是。
役職員一人ひとりが、社会の一員であることの自覚を持ち、
常に自分自身を戒め律し、社会へ感謝し、本業を通じて社会に貢献する。
この心を受け継ぎ、これからも地域の皆さまとともに未来を創ってまいります。



発行／2016年9月

お問い合わせ／滋賀銀行 総合企画部CSR室

〒520-8686 大津市浜町1番38号

電話 077-521-2207

ホームページアドレス／<http://www.shigagin.com>

公式SNSでも、様々な情報を発信しています。



LINE ID:@shigagin



Facebookアドレス:
<https://www.facebook.com/shigagin>

本誌の内容をもっと詳しく知りたい方は

しがぎん CSR 2016

検索



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。



この報告書は見やすく読み間違えにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

